

—自動車部—



- 体育会名：関西学院大学体育会自動車部
- 創部年：1933年(昭和8年)
- 2025年度会員数：26人(4年4人、3年6人、2年11人、1年5人)

- 同窓倶楽部名：関西学院大学体育会自動車部同窓倶楽部
* 関西学院同窓会 公認団体
- 同窓倶楽部通称：KGAC
- 設立年：1973年(昭和48年)
- 会員数：326人(男性286人、女性40人)

自動車部は1933(昭和8)年、学院の自動車研究機関として誕生した。トヨタ自動車や日産自動車の前身である豊田自動織機、日本産業・戸畑鋳物が国産自動車製造に着手したのもこの年で、関学自動車部は自動車産業の発展とともに歩んできたといえる。

34年には関西学生自動車連盟の結成に参加、各種競技会・行事の主導役となった。35年には、国産自動車ダットサンによる大阪・東京往復1000^{km}走行車両性能調査を実施。40年にも機械化実験と道路調査を目的とした北海道遠征をするなどの活動が注目された。

42年、第2次世界大戦の激化に伴い表向き解散したが、当時の部員の証言によると、国防自動車協会学生班として存在していた。戦後の53年、正式に自動車研究会として再興、54年には体育会の仲間入りを果たした。

また、73年に 同窓会公認団体「自動車部 OGB 会」を発足させ、以来 現役を物心両面から支援している。

以降全日本学生自動車連盟主催の公式競技に参加。62年から3年連続でラリー女子の部で全国制覇を果たした。85年には創部50周年記念行事として中国遠征「日中友好自動車派遣団」を組織。上海を起点として400^{km}を走破し、日中友好親善の一翼を担った。

フィギュアでは95年から男女交互に6年間、2000年には男女揃っての全国制覇を果たし、女子はダートトライアル・ジムカーナでも優勝し全日総合杯を獲得。続く01年は女子、02年は男子が全日総合杯を獲得するなど全日本・全関西の自動車部を牽引する活躍をみせた。

近年では23年に女子が全日本総合杯を獲得し日本自動車連盟賞を受賞、23年、24年に男女ともに全関総合杯優勝するなど好成績をあげ、来たる33年の創部100周年に向け、

歴史と伝統を絶やすことなく受け継いで活動している。

また、運転技術の向上並びに安全運転・事故防止に関する知識習得を部の活動目的にしており、競技だけでなく、交通道德の啓蒙活動や東日本大震災発生時には募金活動を行うなど社会的活動、環境問題にも積極的に取り組んでいる。

自動車部 部史 編集担当者 黒田 保博

(H13 法学部)